

広報

おかがき

2020 JULY

7

No.1035

特集「空き家」を身近に考える
放置しないで、その空き家



CONTENTS	目次
■ 特集「空き家」を身近に考える	2
まちかど ZOOM アップ	6
お知らせ	8
（株）ロクリア Informalish 北九州	13～16
子育て Navi	21
町民ふれあい広場	22
新聞短評 土記	24
国際交流情報	26
まち活のススメ	27
行事予定・施設情報	28
考えよう、「分散避難」など	30

深刻化する空き家問題——。 将来、あなたが困らないために



エステートプロモーション北九州
代表取締役 北島 達夫さん
(日本空き家管理協会委員・
岡垣町空家等対策協議会委員)

適切な管理が望まれる「空き家」

人口減少や少子高齢化が進む日本では、空き家の増加は自然なことで、避けることはできません。近年、空き家が問題視されている原因は空き家そのものではなく、「適切に管理されていないこと」にあります。

空き家問題のポイントは「家財」

空き家の所有者の中には家財を処分できていない人も多く、人が住んでいたときから室内の状況があまり変わっていないケースが見受けられます。所有者が空き家を活用しようと考えても、家財の処分に掛かる費用や精神的な負担が大きくなり、その結果と

して空き家が放置されてしまうのです。

日ごろから家財の整理整頓を心掛け、不要なものは捨てるようにしましょう。

定期的な確認でトラブル防止

空き家を管理する上で重要なことは、「空き家であることが分からないようにする」ことです。例えば、人が住んでいたときと同程度に草刈りなどを行うことで、放火などに関する近隣住民の不安の解消につながるほか、害虫などの発生を防ぐこともできます。

空き家に関する近隣トラブルを避けるためにも、定期的に現地 の状況を確認することをおすすめします。

広報おかがき(令和2年7月号)

遠賀郡岡垣町の広報紙「広報おかがき」の空き家問題の特集で
コメントが掲載されました。



新型コロナウイルス感染症の影響により、イベントなどが中止または延期になることがあります。
各イベントが開催されるかどうか分からないときは、担当課または主催者に問い合わせください。
※新型コロナウイルス感染症に関する情報は裏表紙に掲載しています。